



男三人……

今回紹介する施設課事務は中年男性キャスト3名で構成されています。ロマンあふれる渡哲也似の今井課長。やさしさにあふれ、竹輪の天ぶらをこよなく愛する須江代理。そして10月1日から異動となり、駆け出し状態の佐々木の3名で運営しています（ちなみに私の前任者は皆さんおなじみのエンターティナー「ゆいしん」こと油井伸一郎さん、看護学校主任です）。

施設課とは

施設課内40名の職員（事務3・電気2・ボイラー8・リネン9・ハウスキーパー18名）が、日夜院内外のあらゆる施設管理業務に従事しています。このような規模と形態で自前職員による施設管理を行なっている病院は、日本中探してもなかなかありません。それ故に課内の各職場が、長年の歳月を経て独自に発展し伝統を築き、さまざまな利益をもたらしてきました。これは、どの病院にも真似て

施設課事務室の主な業務

- ・施設整備、防災、医療ガス、省エネ、廃棄物委員会事務局
- ・ヘリポートの施設管理
- ・施設関係契約書、公文書管理
- ・施設整備計画の施行
- ・院内ライフライン管理
- ・看板、垂れ幕、ポスター製作
（ご利用は計画的に♥）
- ・課内4部門の統括管理 etc…

きない誇るべきことです。しかし、今後再構築を控え、今まで蓄積した技術やノウハウをどのように生かしていくか、施設課職員にとって大きな課題となります。

南佐久のシンボル

多くのドラマを繰り広げ、思い出がたくさん詰まった歴史的建造物も、いよいよあと数年で取り壊さなくてはなりません。古きよき時代の面影が姿を変えようとしています。施設管理において、あれほど悪戦苦闘したはずの昭和の哀愁漂う建物（本館・北棟ほか）ですが、いざなくなると思うと、何か寂しく感じてしまいます。建物管理のハードな部分から見ても、改めて、佐久病院らしさを考えていく必要があるのではないのでしょうか。

最後に、施設課はいつも何かを持っているとわれ続けてきました。それは……仲間です！（齋藤佑樹風）*突然すみません。

以上、今後ともご理解ご協力をよろしく願います。

（主任 佐々木 茂雄）



2010年施設課主催旅行にてIN京郊

編集後記

2010年が暮れる。再構築に取り組みながらも、大きな事業、行事が目白押しだった1年。そんなあわただしい1年も粛々と過ぎていく。佐久病院の底力を実感した気がする。2011年も佳い年でありますように。

（麗）